

#NURSESFORPEACE



2022年3月10日発表 ICNプレスリリース

国際看護師協会は、ウクライナの保健医療施設と保健医療従事者への攻撃を非難

国際看護師協会（ICN）は、昨日のウクライナの港町マリウポリの小児科・産科病院への攻撃を強く非難する。この攻撃は、世界保健機関（WHO）が確認した、保健医療施設、保健医療従事者、救急車に対する18件の攻撃に続くものである。



ICN会長のパメラ・シプリアーノ氏は、次のように述べている。

「保健医療施設、交通機関、保健医療専門職に対するこれらの攻撃は、深い衝撃を与えています。この戦争で、子どもや妊婦を含む罪のない人々が標的にされたことは容認できません。これは人権と国際人道法の重大な違反です。保健医療専門職と患者は、特別な保護と配慮を受けなければなりません。

また、止血帯や医薬品などの重要な保健医療用品が不足しているほか、水や電気の供給が停止しているため、患者が大きな危険にさらされていることもわかっています。常時、救命のために病院の地下室で生活している看護師たちからの直接の報告も聞いています。病院内でも彼らの命が危険にさらされていることを知り、心が痛みました。」

ICN事務局長のハワード・カットン氏も、この攻撃を次のように非難している。

「マリウポリの産科・小児科病院が攻撃されたニュースや、ICNがここ数日ウクライナの看護師から聞いた報告は、こうした事例が増加している可能性が非常に高いことを意味しています。

紛争地域で働く看護師やその他の保健医療専門職は、紛争地域のすべての場で、標的とされたり銃撃戦に巻き込まれたりした罪のない人々に、ケア、治療、癒しを提供しています。民間人、医療従事者、輸送機関、施設は国際人道法の下で保護されています。したがって、いかなる攻撃もこれらの法律に重大な違反があり、調査される必要があります。」

保健医療への攻撃に対し、WHO事務局長のテドロス・アダノム・ゲブレイェス氏は次のように述べている。

「この状況に対する唯一の真の解決策は平和です。WHOは引き続きロシア連邦に対し、この危機の平和的解決を約束し、人道的アクセスを必要とする人々に安全で妨げられないアクセスを可能にするよう求めています。」

[Insecurity Insight](#)は、紛争がウクライナの保健医療制度に与える影響について、「外出禁止令と道路封鎖により、患者が病院にたどり着くことは不可能ではないにしても、非常に危険な状態になっている。救急車が銃撃されており、病院が攻撃されると、保健医療従事者が負傷したり死亡したりする危険性がある」と述べている。

ICNは、今回の攻撃を非難する [声明](#) を発表した [Safeguarding Healthcare in Conflict Coalition \(SHCC\)](#)、および国際人道法の原則に関する [ビデオ](#) で民間人を守るためのルールと合法的に攻撃できる標的について概説している赤十字国際委員会の [危機に立つ医療イニシアチブ](#) のメンバーである。また、SHCCは、保健医療や公衆衛生に対する攻撃を [時系列で発表](#) しており、このような攻撃が衝撃的な頻度で行われていることを示している。

ICNは、世界中の看護師がウクライナの看護師と連帯するために、[#NursesforPeace](#) キャンペーンを開始した。[キャンペーンのホームページ](#) には、バナー、ソーシャルメディア・タイトル、その他のキャンペーン資料が掲載されており、ダウンロードできる。ICNはキャンペーン支援者に対し、バナーを持った写真を [#NursesforPeace](#) のタグを付けてソーシャルメディアに投稿するよう呼びかけている。ウクライナ侵攻を非難する欧州の看護団体との共同声明への署名は [こちら](#)、ICN人道基金への寄付は [こちら](#) で受け付けている。

支援のために何ができるか？

ICN・EFN・EFNMA共同声明
に [署名する](#)

[#NursesforPeace](#) の画像等を [ダウンロード](#) し、ソーシャルメディアでシェアして応援する

ICN人道基金に [寄付をする](#)